

聖書	第一サムエル 16章
タイトル	油注がれたダビデ
教案日付	2015年 2月15日

項目	イラスト	お話し
I	a 	サムエルは、サウルを王様にしたことを悲しんでいました。サウルは、預言者であるサムエルのことばを守らず、神様の命令にも従いませんでした。サウルの心は、すでに神様中心ではなく自分中心になっていたのです。
	b 	そんなとき神様は、サムエルに言いました。「私は、エッサイの息子の中に新しい王を見つけました。」
	c	
II	a 	サムエルは、エッサイと息子たちを招きましたが、誰が新しい王に選ばれているのかわかりませんでした。
	b 	息子たちの中には、背が高く、見た目がりっぱな息子はいましたが、神様は言われました。「人はうわべを見るが、わたしは心を見ます。」そこで、サムエルはエッサイに「息子はこれだけですか？」と聞くと、ダビデが呼ばれました。

項目	イラスト	お話し
II c		<p>すると、神様は言われました。「さあ、このものに油を注ぎなさい。彼こそ新しい王になる人です。」サムエルは、神様のことば通り、ダビデに油を注ぎました。ダビデが王様になるのは、まだまだ先ですが、ダビデは神様に用いられる人となりました。</p>
III a b c		<p>その頃、神様の霊がサウルから離れてしまい、そのかわりに、悪い霊がサウルを悩ませていました。</p>
		<p>そこで家来たちは、サウルの心をなだめるために、ダビデを呼びました。</p>
		<p>ダビデは、たて琴がとても上手でした。彼の演奏を聴くと、悪い霊はサウルから離れ、元気になれるのでした。ダビデはこうして、サウルの家来になりました。</p>
結論 (適用)		<p>神様は、外見でなく、私たちの心を見てくださっています。ですから、身長や顔立ちなどはもちろん、みなさんの成績表や運動会の順位を見ているのではありません。何でもご存じの神様は、私たちの心がカンペキでないことはご存じです。すぐに、ごめんなさいと言って悔改める正直な心、弱くても神様に頼る心が喜ばれるのです。</p>

使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること